

# 板橋区都市計画マスタープラン（骨子案）に対する パブリックコメントと区の考え方

◎募集期間：平成 28 年 12 月 5 日(月)～12 月 19 日(月)【15 日間】

◎件数：21 人・44 件(持参 5、FAX 提出 3、電子メール 9、Web 提出 4)

NO	意見の概要	区の考え方
計画全般		
1	「テーマ別の都市づくり」と「分野別のまちづくりの展開方針」の関係性がわかりにくい。	・都市づくりビジョンのそれぞれの関係性について、第1章の中で構成を示していきます。
2	都市づくりビジョンの各々の項目どうし関係性がわかりにくい。	
3	「分野別のまちづくりの展開方針」と「テーマ別の都市づくり」の施策や方向性が違う部分があり、区がめざす方向がわかりにくい。	・各取り組み方針の方向性に違いがないようにしていきます。
4	板橋区都市計画マスタープランについて、10年後に社会情勢などを踏まえた見直しは行うのか。	・計画の見直し時期については、上位計画である板橋区基本構想の改定時に行うことを想定しています。
5	しかるべき時期に、本計画に掲げられた目標等に板橋区はどのくらい近づいたのか、検証を行ってほしい。	・計画の評価、進行管理の仕組みづくりについては、第7章の中で検討していきます。
第3章 テーマ別の都市づくり		
●全般について		
6	テーマ別に所管があるが今後組織変更があった場合にどうするのか。	・テーマ別の都市づくりは、政策分野を越えた施策連携を行うことで、組織横断的な取り組みを推進するものです。 組織変更があった場合の対応については、都市づくりの推進方針として、第7章の中で検討していきます。
7	この都市計画マスタープランには、3つの優れた点があると思います。 ①テーマ別の方向性で、最初に多様な主体の協働と、区による総合的なマネジメントの促進をあげていること。 ②残る5つの方向性も、バランスがとれていること。 ③理念的・理論的な方向性だけでなく、より具体的・実務的な分野別の方向性もあげていること。	・都市づくりビジョンでは、活発に営まれる都市生活の中から区民に身近なテーマを設定し、各テーマの魅力を向上させる都市づくりを進めていきます。 ・また、その生活を支える安定した都市基盤についても、第5章の分野別の都市づくりを進めることで価値を高めていきます。

NO.	意見の概要	区の考え方
●共通テーマ 協働とマネジメントが進んだまち		
8	<p>協働×マネジメントは誰が予算を組んで行うのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章のテーマ別都市づくり「共通テーマ 協働とマネジメントが進んだまち」は、区民や事業者、大学、行政が連携して、地域の課題解決や将来像の実現に向けた取り組みを進めるものです。</li> <li>・協働による都市づくりを支える仕組みづくりを第7章の中で検討していきます。</li> </ul>
●テーマ① 駅を中心とした利便性の高いまち		
9	<p>板橋区が「東京で一番住みたくなるまち」になるためには、生活都市として東京でNo.1にする。</p> <p>都心へのアクセスの良さ、買物、通勤等の利便性が板橋区の強み。しかし、東上線の立体化がいまだなされておらず、踏切による不便や危険を感じ、立体化された東急、小田急線のまちに比べてイメージダウンになっている。東上線の立体化はまずやらなければならない課題である。</p> <p>池袋で分断されるという弱点があるため、東武東上線を東京メトロの丸の内線と池袋で結ぶ等、生活都市としての板橋区の利便性、快適性をさらに高めることで、ブランドイメージ構築に繋がる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東武東上線の連続立体化については、区としても長年の課題と考えており、第3章のテーマ別都市づくり「テーマ①」及び第5章の分野別都市づくり「道路・交通ネットワーク」の中に記載しています。</li> <li>・段階的な東武東上線の連続立体化と併せた都市づくりや駅前広場等の整備により鉄道バス等の乗換えの利便性の向上に取り組んでいきます。</li> <li>・東武東上線の他路線との接続については、平成28年の交通政策審議会では答申はされていません。</li> </ul>
10	<p>東武東上線の立体化を推進してほしい。踏切においては遮断機のおりている時間も長く、待たされるうえに、人、自転車、車があふれかえり、高齢者と自転車、車との接触等も心配である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東武東上線の連続立体化については、区としても長年の課題と考えており、第3章のテーマ別都市づくり「テーマ①」及び第5章の分野別都市づくり「道路・交通ネットワーク」の中に記載しています。</li> <li>・段階的な東武東上線の連続立体化と併せて駅構内や駅周辺等の安全対策等を実施し、安全性の向上に取り組んでいきます。</li> </ul>
11	<p>板橋区は生活する上で、徒歩か自転車の地域なので、自転車置き場を整理する等商店街を自転車利用者にとって便利にしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章のテーマ別都市づくり「テーマ①」の中で、駅周辺の駐輪場や自転車道の整備、レンタサイクル等の自転車利用の利便性の向上に取り組んでいきます。</li> </ul>
12	<p>レンタサイクルは前計画にもありましたが、実現しなかったのか。主な鉄道が都心方面に向かっていて、区内を横断する路線がないので、レンタサイクルがあると便利である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクルについては、現在区が行っているものではありません。</li> <li>・レンタサイクル等による自転車利用の利便性の向上を図るための取り組みを、第3章の</li> </ul>

NO	意見の概要	区の考え方
	また、高齢者ドライバーの代用となるバスなどの交通整備も必要である。	テーマ別都市づくり「テーマ①」の中に記載しています。 ・高齢者の足となる身近な公共交通であるバス路線の利便性の向上を図るための取り組みを、第5章の分野別の都市づくり「道路・交通ネットワーク」の中に記載しています。
13	自転車走行は原則道路となったが、徹底されていない。自転車道の整備を都市計画として取り組んでいただきたい。	・駅周辺における自転車道の整備による自転車利用の利便性の向上や環境負荷の少ない交通手段である自転車の安全走行と歩行者の安全性の向上を図るための取り組みを、第3章のテーマ別都市づくり「テーマ①」及び第5章の分野別の都市づくり「道路・交通ネットワーク」の中に記載しています。
14	近年住宅地でも宅配便が多く利用されており、マンションに荷さばきスペースがなく問題になっている。マンション建築時に荷さばきスペースの設置を義務化してほしい。	・地域の人が安心して移動するために、大規模マンション等に荷捌き空間の確保と併せて、大規模マンションに配送する車等の路上駐車をなくすための取り組みを、第5章の分野別の都市づくり「住宅・コミュニティ形成」の中に記載しています。
15	病院や私立の学校なども多く、住みやすい良い街なので、駅前や商店街などを重点的に改善するなど、もっと明るく楽しいまちづくりを期待する。	・駅を中心とした拠点機能の強化や区の顔となる街並み形成を図るために、利便性の良い、にぎわい・交流を生み出すための取り組みを、第3章のテーマ別の都市づくり「テーマ①」の中に記載しています。
●テーマ② ライフステージにあわせて住み続けられるまち		
16	高島平は保育園が多くて比較的働きやすい環境である。 しかし、古い園舎が多く日当たりの悪い園や、園庭の狭い園も多いので、今後子育て世代を呼び込むためにも団地内、あるいは旧高島第七小学校跡地に大規模保育園を新設し、そこに例えば駅南側の区立保育園を集約すべきだと思う。	・旧高島第七小学校跡地は、「高島平地域グランドデザイン(平成27年10月)」において、高島平の都市再生における種地・起爆剤となる貴重な地域資源と位置付けています。 ・再整備にあたっては、「民間活力の活用」と「連鎖的な都市開発」、「公共施設の複合化」を整備方針として、今後最適な整備内容や手法を検討していくことにしています。 ・区立保育園については、その役割を明確にしたうえで、待機児童数の状況や今後の保育需要、乳幼児の人口推計等に鑑み、適正配置を検討していきます。

NO	意見の概要	区の考え方
17	<p>一時保育や病児保育の定員が少なく、育休中や休日、子どもの病気の時など、突発的に保育が必要になったときにとっても困った。定員の増加とともに、ファミリーサポートも含めてIT化し、効率的に利用できるといい。</p>	<p>・病児・病後児保育については、病児保育施設が設置されていない赤塚地区への1施設設置を目標として取り組んでまいります。これらの保育サービスを実施するのは、ほとんどが民間施設であるため、システム化は難しい状況にあるものと考えています。</p>
18	<p>親は生き生きと楽しみをもって育児をし、子ども健やかに育つような取り組みを期待します。子育ての悩みを気軽に相談できる場所がほしいです。病院はどこも混んでいるので、板橋区にも産後ケア施設などがあるとありがたい。</p> <p>すくすくカードは、とてもありがたい制度なので、今後も利用施設の充実をお願いしたい。利用期間が限られているので、体調や病気などで、期間中に利用ができない場合もあると思うので、もう少し気軽に利用できるようにしてもらいたい。</p>	<p>・区では、健康福祉センターで妊娠期からの健康相談、子育てに関する相談を行っています。また、妊婦・出産ナビゲーション事業として、区の子育てサービスに関する情報提供を行い、心配事などを一緒に考えることで、安心して出産、子育てができるようサポートしています。</p> <p>・産後ケア施設については、実施施設の確保などの課題があり、実現可能な方法について検討を行います。</p> <p>・すくすくカードについては、現在、事業についての見直しを行っており、「サービスメニューの精査」、「メニュー限定利用券の追加」および「利用期限の延長」といった内容を検討しています。</p>
19	<p>高島平が古い街ということもあり、バリアフリー化が進んでいないと感じる。新しく大規模マンションを建てる際はバリアフリーに配慮されるといい。</p> <p>公共施設でも西台駅は東口利用者が明らかに多いのにエレベーター設置が西口のため不便である。</p>	<p>・全ての人の使い勝手をあらかじめ想定した「ユニバーサルデザイン」の考えに基づいた良好な住宅の保全・供給促進についての取り組みを、第5章の分野別の都市づくり「住宅・コミュニティ形成」の中に記載しています。</p> <p>・西台駅などの公共交通のバリアフリー化については、ご意見を踏まえて、平成29年度に検討する第5章のエリア別の都市づくりの中に具体的な内容を検討するとともに、東口の円滑な移動への取り組みについて関係機関に働きかけていきます。</p>
20	<p>児童館が、2階や3階に設置されていますが、バリアフリー化をしてほしい。ベビーカーを置く場所がなく、子どもや荷物を抱えて、ベビーカーを</p>	<p>・バリアフリー化や全ての人の使い勝手をあらかじめ想定した「ユニバーサルデザイン」の考えに基づいた公共施設の整備についての</p>

NO	意見の概要	区の考え方
	折りたたむのは大変。	取り組みを、第5章の分野別の都市づくり「住宅・コミュニティ形成」の中に記載しています。
●テーマ③ 産業の力を活かして育てるまち		
21	<p>当社は板橋区高島平六丁目に存する流通業務団地内で昭和48年以来、倉庫施設を保有し運営を行ってきたが、昨今の倉庫物流業界における急速な変化に伴う、時代のニーズに対応した倉庫施設の更新等も検討していかなければならない時期となっている。</p> <p>今後の施設更新等において緑地規制を含む高度地区規制等が事業活動の大きな制約となるため、当該規制の緩和を強く要請する。</p>	<p>・流通業務団地について、東京全体の物流を担う施設であり、新たな時代ニーズに応じた施設更新の重要性は認識しています。規制緩和については、今後の都市づくりの検討の中で総合的に考えを打ち出していきます。</p>
●テーマ④ 地域の個性を活かした環境・文化を創造するまち		
22	<p>区内の緑がマンション開発などで段々減ってきているように感じるが多い。</p> <p>緑豊かなまちにするための方針や具体的な取り組みをお願いしたい。</p>	<p>・緑の保全と創出についての取り組みを、現在改定中の板橋区緑の基本計画と連携して検討していきます。</p>
●テーマ⑤ 甚大な災害にも強いまち		
23	<p>耐震化や危険なブロック塀対策は速やかに促進していただきたい。</p> <p>交通事故に対して、スクールゾーンの路面表示、減速を促す段差舗装などハード面の整備も検討していただきたい。</p>	<p>・建築物の耐震化の促進や危険なブロック塀の除却による避難道路・通学路の安全性の向上のための取り組みを、第3章のテーマ別の都市づくり「テーマ⑤」及び第5章の分野別の都市づくり「安心・安全な都市づくり」の中に記載しています。</p> <p>・道路整備と併せた交通事故対策については、ご意見を踏まえて検討していきます。</p>
24	<p>近年、大きな地震が多く発生しており、東京もいつ発生してもおかしくない状況である。私の家の周りにも、古い木造家屋が多く密集していると感じている。また、区内には、そのような地域が多くあると思う。</p> <p>今後、区においてまちづくりの計画を決めていくのならば、その対策を明確に打ち出してほしい。</p>	<p>・木造住宅密集地域において、主要生活道路の整備や木造住宅建替えを促進し、地域内の住宅の耐震性や耐火性を向上させるなど改善に向けた取り組みを、第3章のテーマ別の都市づくり「テーマ⑤」及び第5章の分野別の都市づくり「安心・安全な都市づくり」の中に記載しています。</p> <p>・具体的な対策については、今後の都市づくりの検討の中に総合的に考えを打ち出していきます。</p>

NO	意見の概要	区の考え方
<b>第4章 区がめざす将来都市構造</b>		
25	4.「2.板橋区が目指す将来都市構造(仮イメージ)」について「～基本的考え方～」の5項目目で、「…区民や様々な生物にとって快適な都市環境…」とあるが、これはどのような環境なのか。	・緑地や湧水地保全等により、区民の生活に潤いを与えると同時に生き物の生息地が確保されている環境を想定しています。
26	都市拠点の成増駅周辺、生活拠点の下赤塚駅周辺で比較すると、成増駅では既に駅前広場が整備され駅へのアクセスは良い一方で、下赤塚駅等は駅前広場等が整備されておらず、利便性を向上させるためには駅前広場等の整備が必要と感じるので、都市拠点だけではなく生活拠点に方針を掲げるべきではないか。	・都市拠点、生活拠点としての位置付けは、駅周辺の土地利用の状況やバス路線網の状況、鉄道利用の状況等から設定しています。 ・特に、周辺地域のバス路線網の核となる駅については駅前広場の整備や駅へのアクセス道路の整備等を図る交通結節点として位置付けています。
27	将来都市構造や自分の地区まちづくりの方向性を早く知りたい。	・第4章の「区がめざす将来都市構造」に都市の骨格となる拠点と軸を中心に区がめざす都市構造を定め、将来像が実現したくらしの形をイメージ図に示しています。 ・また、第6章のエリア別の都市づくりでは、駅を中心とした都市づくりに関する新たなエリアを設定し、そのエリアの特徴を活かした取り組みの大きな方向性を示していきます。
<b>第5章 分野別の都市づくり</b>		
●道路・交通ネットワークの形成		
■公共交通について(高島平について)		
28	バス路線について、高島平からは浮間舟渡、東武練馬、成増にアクセスできるため埼京線、東上線、有楽町線に接続できますが、大江戸線へのアクセスが不便である。光が丘方面に直通のバスがあるといい。また高島平駅から和光市へのバスもあると便利である。	・高島平駅を起点とするバス交通のさらなる路線の拡充については、まずは高島平のまちづくりに積極的に取り組み、都市としての魅力向上を図っていきます。
■鉄道の利便性向上について		
29	都営三田線は、現在は6両編成により運行されているが、ラッシュ時は相当に混雑するため、8両編成とし利用者の快適性の向上に向け都に働きかけていただきたい。	・鉄道交通の利便性の向上として、都営三田線の混雑を緩和するための車両の増両を区でも必要と考えており、東京都への働きをしていくことについて、第5章の分野別の都市づくり「道路・交通ネットワークの形成」の中に記載しています。
30	最近区内で巨大なマンションが多く建設されている。その影響で人口が増え、地下鉄が大変混	

NO	意見の概要	区の考え方
	雑するようになった。車両を6両から8両になるように取り組んでほしい。	
31	東京都内で東上線ほど悪い私鉄はない。ここ5年ほどで踏切を無くしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踏切の解消のためには東武東上線の連続立体化を進める必要があり、区ではこれまでも国や都、鉄道事業者等と連携して実現に向けた取り組みを進めています。</li> <li>・東武東上線の連続立体化については、区としても長年の課題と考えており、第3章のテーマ別の都市づくり「テーマ①」及び第5章の分野別の都市づくり「道路・交通ネットワーク」の中に記載しています。</li> <li>・段階的な東武東上線の連続立体化と併せて都市づくりを行い、踏切が原因の交通渋滞の解消に取り組んでいきます。</li> </ul>
<b>●住宅・コミュニティの形成について</b>		
32	住宅コミュニティの形成…の中で、「老朽マンションの建て替え促進」と述べているが、これには行政として本気で取り組んでほしい。耐震強度が不足の住宅を建て替えられないことは命に関わることである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の耐震診断や耐震工事、老朽化集合住宅の建替えに関する助成制度の活用等により、良好な住宅ストックを維持し、老朽化した一戸建て住宅や集合住宅の建替えの誘導等についての取り組みを、第5章の分野別の都市づくり「住宅・コミュニティの形成」の中に記載しています。</li> </ul>
<b>●都市環境の向上</b>		
33	<p>スマートシティの推進により、再開発事業や公共施設の整備等で再生可能エネルギーや省エネルギー技術を導入することや、複数の建物でのエネルギー利用や融通により、面的にエネルギーネットワークをつくることは、電力需要ピークの緩和・多重化に役立つ。エネルギー利用の効率化により、街全体の低炭素化にも貢献するため、環境配慮型社会の実現には不可欠である。</p> <p>都市ガスを燃料としたコージェネレーションシステムは、分散型発電システムで発生する排熱を回収し、冷暖房や給湯に有効に活用する低炭素型システムである。</p> <p>また、コージェネレーションシステムに加え、太陽熱など利用効率の高い再生可能エネルギーや清掃工場の排熱などの未利用エネルギーを</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区ではこれまでも太陽光発電システムや家庭用燃料電池、住宅用蓄電池システムなどの設置補助や、公共施設における太陽光発電システムや蓄電池システム等の設置を行っており、今後も自立分散型エネルギーの普及を推進していくことについて、第5章の分野別の都市づくり「低炭素・環境共生社会の実現」に記載しています。</li> <li>・また、「板橋区スマートシティ推進方針」に基づき、民間事業者等との連携などを図りながら取り組みを推進し、再生可能エネルギーや自立分散型エネルギー等の活用による面的なエネルギーの効率化を図るなど、低炭素で安心・安全なまちを目指していきます。</li> </ul>

NO	意見の概要	区の考え方
	<p>導入することにより、効率の高いエネルギーネットワークの構築が可能になる。</p> <p>自立・分散かつ高効率なエネルギーシステムの導入により、平常時における地域全体のエネルギー環境負荷の低減やエネルギー利用の効率化・平準化が図られる。</p>	
●街並み・景観の形成		
34	<p>住んでいて、愛着や誇りがもて、子の世代も長く住み続けたいと思えるような、美しい街並みにしてもらいたい。</p> <p>公園や街路樹も、マンションや店舗周辺の緑や歩道は憩いの空間であり、緑も季節感のあるものを選んでいただきたい。</p> <p>黒色の建物は威圧感がありすぎて、住民にとっては圧迫感がある。ただでさえ大型の建物は圧迫感が大きいので、色くらいは目に優しいものにしてもらいたい。近隣の者にとって、美しい景観、目に優しい景観を考えてもらいたい。</p> <p>また、建物が大型になる時は、圧迫感を感じにくい空間づくりを考えてもらいたい。</p>	<p>・区全体の景観の質の向上や地区の特性を活かした街並み・景観の形成についての取り組みを、第5章の分野別都市づくり「街並み・景観の形成」の中に記載しています。</p> <p>・また、崖線や農地の緑を活用した緑豊かな街並みの形成など、自然や歴史・文化資源を活かした都市づくりと連携した街並みの形成についても同部分に記載しています。</p>
●安全・安心なまちづくり		
35	<p>大規模災害からの迅速な復旧、復興には、災害時の都市機能の維持が重要になります。特に病院や避難所となる小中学校施設などの事業継続計画では、非常時に利用できる電源確保が求められている。</p> <p>日常的には、電力と熱を供給しつつ、非常時の備えとして自立分散型のコージェネレーションシステムを導入することにより、停電時でも電力と熱の供給を継続できるため、災害拠点の防災対策においても重要な役割を果たすものとする。</p> <p>また、再開発事業においては、災害時に必要なエネルギーの安定供給が確保される業務継続地区の構築が必要不可欠です。自立分散型のコージェネレーションシステムを導入し、エネルギーをネットワーク化することで、電力と熱の面的利用を行うことにより、災害時においても最低限必要な電力及び冷暖房の継続供給を維持することができるのと同時に、エリア全体の防災対応力の</p>	<p>・災害発生後の機能維持として、医療施設や上下水道、交通などのインフラ、避難場所・避難所等の防災拠点の機能が維持できるよう、これら区民の生命に関わる施設やライフライン施設の耐震化、自立分散型電源の設置、防災備蓄の充実等の取り組みを、第5章の分野別都市づくり「安心・安全な都市づくり」の中に記載しています。</p>



NO	意見の概要	区の考え方
	強化、付加価値・資産価値向上が図られると考える。	
第6章 エリア別の都市づくり		
36	高島平に住んで思うのは、ショッピングモール等がなく雑貨や服飾品の購入場所がない、街が古くて活気がない、百貨店や遊園地等のある駅へのアクセスが良くない。高島平自体が若者にとってもう少し魅力ある街になると良い。	・高島平では高島平地域グランドデザインを策定し、その実現に向けて取り組みを開始しており、「若者にも選ばれる都市」をめざしています。
37	本蓮沼駅一帯は準工業地域ですが、マンション等の建設が進むなど住宅ゾーンとしてまちが形成されつつある。 一方で、商店街としての機能は弱く、買い物等の面では利便性が高いとは言えないため、住宅ゾーンの進展にあわせ、駅周辺には賑わいのある商店街が形成されることが望ましい。	・本蓮沼駅周辺の都市づくりについて、ご意見を踏まえて、平成29年度に検討する第6章のエリア別の都市づくりの中で、具体的な内容を検討していきます。
38	ときわ台駅前ロータリーを景観形成重要公共施設に指定してほしい。または、駅前ロータリー内のヒマラヤ杉、ケヤキを景観重要樹木に指定してほしい。 現中央図書館跡地に公共施設が建設される予定ですが、その公共施設の建築物及びその用途は、景観形成重点地区である常盤台にふさわしいもので、区民、地域住民の憩いの場としてほしい。	・ときわ台駅及び現中央図書館跡地の活用については、ご意見を踏まえて、平成29年度に検討する第6章のエリア別の都市づくりの中で、具体的な内容を検討していきます。
39	高島平六丁目の流通業務団地は、都市計画においても商業・住宅地域とは明確に分離独立した用途エリアとして取り扱うべき。 区の提案内容は、区民の生活レベルに視点・重点が置かれているが、高島平六丁目は将来とも流通業務団地機能を維持していく位置づけを明確に表現し、都市計画に織り込まれるべきである。都市計画改正案においては、将来の土地利用を構想した敷地と道路・鉄道敷との関係を今のうちから計画しておくべきで、一般車両と物流トラックの動線分離、居住エリアと物流地区との間にバッファーゾーンの配置、歩車道分離等、これらの内容を実現するためには、流通業務団地内の容積率割増し高層立体化、高さ制限の緩和も必須であると認識している。	・高島平六丁目の流通業務団地は、東京全体の物流を担う施設であり、用途規制や都市計画により機能が確保されています。 ・ご意見を踏まえて、今後の都市づくりの検討の中で、総合的な考えを打ち出していきます。

NO	意見の概要	区の考え方
40	<p>エリア分けはまだ決定していないと聞いたが、どんなエリアになったとしても、区内交流がより盛んになるようにしてほしい。</p> <p>また、住民と事業者との交流も盛んにしてほしい。このことは、大規模災害時にも役立つのではないか。</p>	<p>・エリア区分同士の連携やまちづくりの主体となる区民・事業者・区の役割や連携については、第7章の中で都市づくりビジョンの推進方策として検討していきます。</p>
41	<p>エリアが重なっているところに住んでいる人は、どちらの方向でまちづくりが進んでいくかわからない。</p>	<p>・エリア区分は、事業者や区民が通勤や通学、暮らしの中で日常的に利用する駅利用圏域を基準として設定しています。複数の特性を持つ地区は、エリア区分が重複しています。</p> <p>・第6章のエリア別の都市づくりの中で、エリア区分が重複している区民の方にわかりやすいような表現となるよう工夫していきます。</p>
★その他の意見		
42	<p>受動喫煙対策が出来ていない。駅の高架下や店舗前のオープンエリアの喫煙所が目立つ。また飲食店内の分煙も進んでいない。喫煙マナーも悪く歩きたばこやポイ捨てもよく目にする。</p> <p>喫煙所を独立した設備にし、外に煙が漏れないようにし、分煙化に補助を出す等して、積極的に禁煙化、分煙化を進めていくべき。妊娠中、子育て中は特に気になる。</p>	<p>・厚生労働省では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催を見据え、現状の努力義務よりも実効性を高めるための罰則の適用も含めた、受動喫煙防止対策の法制化を進めており、この動向を注視しつつ、受動喫煙防止対策の検討を進めていきます。</p> <p>・路上禁煙対策のあり方については、喫煙スペースの在り方と併せて検討を進めているところです。</p>
★その他意見(計画策定方法)		
■計画策定方法について		
43	<p>説明会とパブリックコメントの意見募集期間の大半が重複しており、説明会後の意見とりまとめ時間が短すぎる。意見募集期間の延長を希望する。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、平成 29 年度に実施する予定の説明会の時期やパブリックコメントの期間について検討していきます。</p> <p>・期間を限定せず、改定検討作業中にご意見をいただければ、その意見についても検討していきます。</p>
44	<p>都市計画はハード整備に目が行きがちだが、協働の取り組みがあってこそ、区民のまちづくりへの理解が得られ、計画や事業が円滑に進むのではないか。</p> <p>改定作業経過を見せる化、見える化し、まちづくり活動に参加したい人に情報提供をしてほし</p>	<p>・計画改定の経過については、今まで以上に板橋区 HP や広報いたばしを活用する等、情報発信する方策については検討していきます。</p>

NO	意見の概要	区の考え方
	い。本計画を「絵に描いた餅」で終わらせないためにも、協働の推進をお願いしたい。	